



DISCOVER

1月20日-21日

GS1 Japan(東京メトロ・都営地下鉄各線 青山一丁目駅直結)
Zoom Webinar のハイブリッド開催

参加無料
詳細・お申し込みはQRコードより



Discover “GS1”

Discover from “GS1”

人手不足対応、安全性向上、消費者への情報提供、規制・・・どこまでもビジネスは試練の連続。

生きたグローバル標準“GS1”はそんな試練に向かうパートナーです。

これからの時代に、さらに一歩先に、
私たちGS1 Japanが次世代のビジネスヒントを提供します
GS1を発見し、そしてGS1からビジネスチャンスを発見してください！

開催概要

日時	2025年 1月20日 10:00-18:00 (9:45 開場) 21日 10:00-17:20 (9:45 開場)
会場	ハイブリッド開催 ・ GS1 Japan (東京メトロ・都営地下鉄 各線 青山一丁目駅 南青山方面 改札口直結) ・ Web (Zoom Webinar)
参加費	無料
セッション 協力企業	味の素株式会社、イオン株式会社、株式会社ゴールドウイン、 日建リース工業株式会社、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） (五十音順)
主催/ 問い合わせ	GS1 Japan ソリューション第1部 solution@gs1jp.org

会場アクセス方法
詳細はこちらから



ご参加方法

まず、[こちら](#)
からお申込み！



申し込み完了メール
受信！



Web

オンラインにて
セッションに参加



会場

会場にて参加
(青山一丁目駅直結)



ご参加後は、アンケート回答で
資料ダウンロード！



DAY1

No.01 10:00-10:10

開会挨拶

開会のご挨拶と、本イベントの目的や趣旨をご説明します。

対象：全員

No.02 10:10-10:35

まずは知ろう、GS1 とはなにものか？

グローバル標準「GS1」とは何ものか。どこで使われ、どのような未来があるのか。ビジネスで使える標準としての GS1 をご紹介します

対象：全員

No.03 10:50-11:55

GS1 標準はここから始まった。GTIN と JAN コード

GS1 標準のファーストステップ「JAN コード」は使用から 50 年以上が経過し、国内外で最も広く活用されている商品識別のための標準です。2016 年には BBC の「現代経済を作った 50 のもの-the 50 things that made the modern economy-」にも選出されました。

本セッションでは GS1 標準の肝ともいえる GTIN、JAN コードについてその歴史と活用の広がりについてご説明します。

ゲストスピーカー

輸出における GTIN 活用のメリットとは

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

二宮 美穂氏

対象：全員

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.02

No.04 13:15-13:50

GS1 標準の真骨頂！

「GS1 識別コード」と「GS1 アプリケーション識別子」

GTIN の活用から 50 年以上が経過し、GS1 標準は様々な活用に広がっています。このセッションでは商品だけでなく場所や資材などもグローバルで識別できる「GS1 識別コード」と、賞味期限やロット番号などの属性情報も含む様々な項目を表現できる「GS1 アプリケーション識別子」についてご説明します。

対象：全員

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.02

No.05 14:05-14:35

安全で効率的な医療の実現のために

ヘルスケア分野における GS1 標準の利用動向

患者安全の向上や医療業務の効率化を目的として、国内外のヘルスケア分野では GS1 標準が広く利用されています。日本においては、医療用医薬品・医療機器等に対して、GTIN のほかロット番号や期限情報等も含むバーコード表示が義務化されています。本セッションでは、国内医療製品へのバーコード表示ルールや、医療機関におけるバーコード・RFID の活用事例を紹介します。

対象：医療従事者、医療製品・サービス関連企業、

ソリューションベンダー、物流関連企業

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.04

No.06 14:50-15:40

Ambition 2027!

グローバルで導入が進む 2D in Retail とは？

小売業界に大きな変化が訪れようとしています。

POS レジでのさらなるデータ活用やパッケージスペースの有効利用、メーカーや小売業における高度な消費者エンゲージメントのために GS1 二次元シンボルを活用する取り組みが進められています。本セッションでは最新の標準化情報や事例、活用メリットなどについて詳しくご紹介します。

対象：小売業・メーカー・ソリューションプロバイダー

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.04

No.07 15:55-17:00

活用分野が一気に拡大！EPC/RFID の真価

複数のタグを一気に読み取って効率よく物の数をカウントできる RFID は、近年アパレル業界を中心に小売店舗のほか物流においても業務効率化や在庫精度向上等に役立てられています。

本セッションでは、商品や資産に取り付けた RFID タグをサプライチェーン全体で活用するうえで重要になる GS1 標準を紹介するとともに、実際の EPC/RFID 活用事例を紹介します。

ゲストスピーカー

アパレル分野における EPC/RFID 活用

株式会社ゴールドウイン

澤田 光弘氏

ゲストスピーカー

レンタル物流資材管理のための EPC/RFID

日建リース工業株式会社

浜田 千波氏

対象：全員

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.4

No.08 17:00-

GS1 でビジネスの未来を語ろう 懇親会

会場にて、軽食付きの懇親会を開催します。GS1 に関わる様々なステークホルダーの皆様との情報交換にぜひご参加ください。

対象：全員（会場の都合上、先着 50 名様とさせていただきます）

DAY2

No.09 10:00-10:55

ベンダー企業必見

GS1 標準のルールブックと使えるツール

GS1 標準はサプライチェーン全体での活用が目的のため、「GS1 総合仕様書」などをはじめとした標準書で様々なルールが規定されています。これらのルールを守らないと、実運用の際に様々な問題が発生します。また、GS1 ではソリューションプロバイダーが GS1 標準の活用ツールを開発する際に活用できるツールを公開しています。本セッションでは、GS1 標準を活用した製品を開発されている方向けに、これらの仕様書やツールについて、ご紹介します。

対象：GS1 標準を活用した製品を開発・販売されている方
深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.4

No.10 11:10-11:55

国内標準 EDI「流通 BMS」

2024 年問題や 2025 年の壁など、社会全体として深刻な人手不足に直面している中で、デジタル化は大きな課題となっています。

商取引においても、企業間の情報交換を電子的に行う「EDI」に変えることでペーパーレスにも繋がり、「時間・コスト・ミス」の削減に大きく貢献します。本セッションでは国内の消費財流通で広く使用されている標準 EDI「流通 BMS」の概要と標準利用のメリットについて紹介します。

対象：全員

No.11 13:10-14:00

GS1 標準×Web「GS1 Digital Link」

商品情報ページやキャンペーンページなど、商品に関するさまざまな情報・サービスをウェブ上に公開することは、企業の販売促進や消費者への情報提供として、必要不可欠です。また、EU の Digital Product Passport (DPP) をはじめ、サステナビリティに関する情報を消費者や取引先などに提供するニーズや規制も増えていくことが予想されます。

本セッションでは、GTIN などの GS1 識別コードをウェブにつなぐ GS1 Digital Link の概要や、GS1 Digital Link の活用場面について解説します。

対象：全員
深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.04

No.12 14:15-15:25

GS1 標準だからこそまでできる、物流可視化

人手不足や物流需要の増加などに対応するため、さまざまな業界で物流の効率化が喫緊の課題となっています。SSCC（出荷梱包シリアル番号）などの物流で使える GS1 識別コードやサプライチェーン可視化のための GS1 標準「EPCIS」を活用することで、関係者が共通して理解できる形でデータ共有が可能となり、モノの所在管理やトレーサビリティの確保、さらには企業をまたいだ共同配送も容易になります。

本セッションでは、物流で使える GS1 識別コードと EPCIS の概要、複数企業による実証実験について紹介します。

ゲストスピーカー

GS1 標準を活用した物流可視化・効率化

～持続可能な加工食品物流の構築にむけて～

味の素株式会社 長濱 賢治氏

対象：全員

深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！：No.04

No.13 15:40-17:15

グローバルに広がる GS1 の商品情報データベース

その活用メリットを探索

近年、国境を越えた商品取引の増加により、商品を一意に識別する GTIN の重要性が高まり、さまざまな情報が溢れるようになったことで、ブランドオーナー発信の信頼できる商品情報が求められるようになっていきます。

本セッションでは、GS1 Japan が提供する商品情報データベースサービスや、商品情報の検索サービスについてご紹介し、活用メリットについて解説します。

ゲストスピーカー

イオン×GS1 商品データベース

イオン株式会社

山田 宏子氏

対象：全員

No.14 17:15-17:20

閉会挨拶

対象：全員

- ◆ 本セミナーは、興味のあるセッションを選択し、ご参加いただけます（すべてのセッションへの参加は必須ではありません）。
- ◆ 各セッションの「深く理解するためにはこの講座を先に聞こう！」に書かれている番号は、そのセッションに必要な知識を説明しているセッションの番号です。先に聞くセッションの内容を全く知らない方は、是非事前に対象のセッションにご参加ください。

よくあるご質問

お申込みについて

- **申込フォームが二種類ありますが、どちらから申し込んだら良いですか。**
お申込みに当たっては、下記2種類をご用意しております。ご自身のご参加方法に応じて選択してください。
A方式：会場、会場とWEBのハイブリッド参加、参加方法を検討中
B方式：WEBのみで参加
(セッションごとに参加方式が異なる場合は、A方式よりお申込みください。)
- **同じ企業から複数で参加したいです。申し込みは代表者のみでよいですか？**
お手数ですが、複数でのご参加の場合も、お一人ずつ申し込みフォームからお申込みください。
- **オンライン参加ですが、懇親会だけは現地参加したいと考えています。その場合、どのように申し込みをすればよいですか。**
B方式にてお申込みいただき、懇親会参加は「懇親会に参加する」をご選択ください。
- **申込登録がエラーになってしまいます。**
同一メールアドレスからの複数登録は出来ません。異なるメールアドレスにてご登録ください。
メールアドレスを変えても登録エラーとなる場合は solution@gs1jp.org までお問い合わせください。

オンライン参加について

- **オンライン参加の具体的な方法を教えてください。**
各セッションの5分前にご登録いただいたメールアドレス宛に参加用のZoom URLを記載したメールをお送りします。URLをクリックし、セッションにご参加ください。
- **オンライン参加の場合も質問はできますか？**
質疑応答を設けているセッションでは会場・オンライン参加にかかわらず質問をお受けします。
また、各セッション後に自動推移するセッションシートからも質問やご意見等をお送りいただくことができます。
- **オンライン参加で申し込みましたが、会場参加に変更したいです。**
Discover GS1 2025 受付番号を添えて solution@gs1jp.org までメールにてご連絡ください。

会場での参加について

- **会場へのアクセス方法が知りたいです。**
会場はGS1 Japanのオフィスです。
〒107-0062
東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 9F
東京メトロ銀座線・半蔵門線 / 都営地下鉄 大江戸線
「青山一丁目駅」南青山方面改札口直結
- **会場受付の方法をおしえてください。**
両日ともに9:45から受付を開始いたします。申し込み時に発行されるDiscover GS1 2025 受付番号とお名刺を1枚ご用意の上、会場受付にお越しください。
- **会場参加からオンライン参加に変更したいです。**
ご登録のアドレスにお送りする参加用Zoom URLからご参加ください。事務局へのご連絡は不要です。
- **駐車場はありますか？**
当財団に駐車場のご用意はありません。公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- **喫煙できる場所がありますか？**
会場は全面禁煙です。喫煙は新青山ビル東館地下1階の喫煙スペースをご利用ください。

資料や録画の配布について

- **セッションの資料は後日配布されますか？**
Discover GS1 会期終了後に、ご登録いただいたメールアドレスに全体アンケートをお送りいたします。アンケートにご回答いただいた方には、一部投影のみのものを除き、資料配布を行います。
なお、各セッション後に自動推移するセッションシートへの回答は資料配布の対象にはなりませんので、ご了承ください。
- **セッションを録画してもよいですか。**
全てのセッションの無断録画・共有は固くお断りさせていただきます。

【ご紹介】GS1 Japan が主催する各種セミナー

GS1 Japan では皆様の業務をサポートするための、さまざまなセミナーを企画しています。
Discover GS1 に参加するための前提知識としても、参加後のさらなる学びにも、是非ご活用ください。
開催日程やプログラム詳細は QR コードよりアクセス！



バーコード入門講座

参加費	無料	開催方法	オンラインのみ
講座内容	国際標準の商品識別コードとして利用されている JAN コード、集合包装用商品コードに関する基礎知識を解説します。GS1 事業者コードを取得された方はぜひご参加ください。		
問い合わせ先	広報・ブランディング推進室 kouhou@gs1jp.org		

GTIN パーフェクトセミナー

参加費	お一人 ¥5,500 (税込)	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	GTIN (商品識別コード) の設定・変更ルールについて、基礎から発展まで解説します。 正しい GTIN の設定・変更ルールを学ぶことにより、商品の仕様変更の際や、EC サイト出店の際に GTIN 設定を効率的に正しく行うことができるようになります。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部 グロサリー業界グループ aidc@gs1jp.org		

EPC/RFID 入門講座

参加費	無料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	初心者向けに RFID (電子タグ) の特徴や国内外の活用事例、GS1 標準識別コードの活用について解説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部 (EPC デスク) epcdesk@gs1jp.org		

EPC エンコード技術講座 - TDS1.x 編/TDS2.x 編

参加費	有料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	RFID タグに GS1 標準のデータを正しく書き込むために、EPC タグ・データ標準 (「TDS」: EPC Tag Data Standard) の規定に従って対応するバイナリ形式に正しく変換=エンコードする方法を詳説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部 (EPC デスク) epcdesk@gs1jp.org		

次世代バーコード入門講座 -JAN/ITF のその先へ-

参加費	無料	開催方法	WEB 開催
講座内容	GTIN (商品識別コード) に加えて様々な情報を表現できるバーコードの活用や GS1 アプリケーション識別子について基礎的な内容を解説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部 グロサリー業界グループ aidc@gs1jp.org		

次世代バーコード活用講座 (単品編)

参加費	有料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	POS レジで読み取る商品に GTIN+属性情報を 1 つのバーコードで表示し、さまざまなメリットを享受しませんか。本講座では次世代バーコード入門講座の内容をもとに、最新事例や技術情報、具体的な導入手順などをご説明します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部 グロサリー業界グループ aidc@gs1jp.org		

GS1 Digital Link 入門講座

参加費	無料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	初心者向けに GS1 Digital Link 標準の狙いと概要、利用事例と更なる利用イメージ、それらの根底にある考え方を解説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部（EPC デスク） epcdesk@gs1jp.org		

EPCIS 入門講座

参加費	無料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	初心者向けに EPCIS 標準の狙いと概要、利用事例、EPCIS を用いたサプライチェーン可視化システム構築の考え方を解説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部（EPC デスク） epcdesk@gs1jp.org		

EPCIS 技術講座 – 基礎編

参加費	有料	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	EPCIS 標準を用いて実際にサプライチェーン可視化の情報システムを設計・開発するために必要となる、同標準の技術的な内容を詳説します。		
問い合わせ先	ソリューション第 1 部（EPC デスク） epcdesk@gs1jp.org		

医療用医薬品・医療機器バーコード入門講座

参加費	お一人 ¥4,400（税込）	開催方法	ハイブリッド開催
講座内容	ヘルスケア業界を対象に、バーコード表示の基礎を解説するとともに、医療用医薬品と医療機器のバーコード表示について、厚生労働省通知の内容をそれぞれ解説します。 （開催は医療用医薬品向け・医療機器向けで日程が異なる場合があります。）		
問い合わせ先	ヘルスケア業界グループ healthcare@gs1jp.org		

流通 BMS e 講座 (e-learning)

参加費	無料	開催方法	オンラインのみ
講座内容	流通 BMS e 講座では、「入門講座」と「導入講座」の2つの講座があります。「入門講座」では、初心者向けに EDI の基礎から流通 BMS の概要を説明します。「導入講座」では実際に流通 BMS 導入に向けた手順等について解説します。		
問い合わせ先	流通 BMS 協議会 ryutsu-bms@gs1jp.org		



タイムスケジュール

DAY1 (1/20)

DAY2 (1/21)

09:45 | 開場

09:45 | 開場

10:00 | 開会挨拶

No.01

10am

10:00 | バンダー企業必見！
GS1標準のルールブックと
使えるツール

No.09

10:10 | まずは知ろう、
GS1とはなにものか？

No.02

10:50 | GS1標準はここから始まった
GTINとJANコード

No.03

11am

11:10 | 国内標準EDI「流通BMS」

No.10

(独) 日本貿易振興機構 (ジェトロ)
輸出におけるGTIN活用のメリットとは

12pm

13:15 | GS1の真骨頂！
「GS1識別コード」と
「GS1アプリケーション識別子」

No.04

13pm

13:10 | GS1標準×Web
「GS1 Digital Link」

No.11

14:05 | 安全で効率的な医療の実現のために
ヘルスケア分野における
GS1標準の利用動向

No.05

14pm

14:15 | GS1標準だからここまでできる、
物流可視化

No.12

味の素 (株)

GS1標準を活用した物流可視化・効率化
～持続可能な加工食品物流の構築にむけて～

14:50 | Ambition 2027！
グローバルで導入が進む
2D in Retailとは？

No.06

15pm

15:40 | グローバルに広がる
GS1の商品情報データベース
その活用メリットを探る

No.13

イオン (株)

イオン×GS1商品データベース

15:55 | 活用分野が一気に拡大！
EPC/RFIDの真価

No.07

16pm

(株) ゴールドウイン

アパレル分野におけるEPC/RFID活用

日建リース工業 (株)

レンタル物流資材管理のためのEPC/RFID

17:00 | GS1でビジネスの未来を語ろう
懇親会

No.08

17pm

17:15 | 閉会挨拶

No.14